



新年増大号

泉神社

CONTENTS

■年頭所感..... 2~10	■相談所だより/健康経営応援宣言..... 24
■紙上名刺交換..... 11~17	■国・県・市からのお知らせ/..... 25
■新春特集：新春座談会..... 18~22	事務局職員紹介
■新年名刺交換会/常議員会/..... 23	■協賛広告..... 26~36
商工会議所の動き	



発行所●日立商工会議所 〒317-0073 日立市幸町1-21-2  
 発行人●鈴木昇 購読料●200円(購読料は会費の中に含まれています)  
 TEL 0294-22-0128 FAX 0294-22-0120 ホームページ <http://www.hitachicci.or.jp/>

日立商工会議所 検索





# 「新時代で躍進」



日立商工会議所 会頭 秋山 光伯

令和四年の新春を迎え、謹んでお慶びを申しあげます。

会員事業所の皆さまに 生から2年が経過し、未だ ご尽力いただいております

は、平素から日立商工会議 先行き不透明な状況が続い ことに対しまして、敬意と

所運営に、温かいご支援 しております。このような状 感謝を申しあげる次第で

ご協力をいただいております 況の中、会員事業所の皆様 す。

すことに厚くお礼申しあげ には、新しい経営手法確立 さて国内では、海外の社

ます。 への努力を惜しまず、企業 会経済回復の影響から半導

新型コロナウイルスの発 の発展と地域経済活性化に 体等の資材供給不足や高騰

が顕著となり、企業収益の い経営環境下となります。

悪化を招いていることか こうした中で、私ども中小

ら、早期の改善が待たれる 企業の安定に向けて、国・

ところ です。また、働き方 県の支援金など多岐の事業

改革による労働環境の変化 者を支援する制度や雇用拡

は、雇用改善につながるも 大維持に資する助成金の拡

の、企業にとっては厳し 充、厳しい経営環境の中、



新分野に挑戦するための事業再構築補助金が準備され、様々な角度から企業支援が行われました。

当地域の動きといたしましては、日立市によるコロナ対策施策として、市民へのワクチン接種が高水準で浸透しました。また、消費喚起や予防対策補助など企業活動支援におきましても、切れ目なく対策を講じていただきました。日立駅前商業街区の核店舗の閉店が発表されましたが、これには行政との連携をもって対処し、当街区の環境維持と活性化、地域住民の利便性を確保しなければならぬと考えております。日立市の歴史を象徴する大手企業では、企業の発祥から現

在までの変遷をたどる企業ミュージアムとして日立オリジンパークが完成、多くの見学者を迎え、ものづくりの街として成長を遂げた先人の思いや努力の足跡を辿ることができ、観光施設としての誘客にも一役買っていたいております。年末には、当地を創業地とする大手企業から、先端非鉄金属素材を製造する2工場の新設を含む大型設備投資計画の発表がありました。

創業地の思いが連綿と受け継がれたことは大変ありがたいと、当市活性化の起爆剤となることに期待を寄せております。さらに、今後の地域活性化を進めるうえでは、行政・大企業と地域企業・市民、

商工会議所が同じ方向を向き、当地域が持つ潜在力をフルに活用し、前に進むところを、「まちを元氣」にすることに繋がっていくものと考えております。

日立商工会議所といたしましては、「新時代で躍進」をスローガンに、商工会議所活動の使命であります「企業の発展と地域経済の活性化」に向け、きめ細かな相談対応、コロナ対策に対する取組みについては当然のこと、終息までの間総力をあげてバックアップする所存でございます。

基本的な事業のほかに、新たな通信網整備に伴う、デジタル化対応について研鑽を深めてまいります。

ものづくり関連では、大企業が取組むカーボンニュートラルについて理解し、地域企業との関わり方やそこから派生する新たなビジネスチャンスの研鑽・支援、次代に合った生産活動に対応ができる企業の創出など、変革に向けたチャレンジを支援してまいります。

会員事業所の皆様には、デジタル化の進展など経営環境の変化が顕著に進む中、新しい時代で躍進するための心構えを共にもち、一丸となって持続可能な社会を実現するため、手を携えて邁進して参りたいと存じます。

結びといたしまして、コロナウイルスの早期終息、会員並びに関係皆さまのますますのご健康とご多幸を、ご祈念し、年頭のご挨拶といたします。





# 地域とともに、未来を創る

## 日本商工会議所会頭 三村 明夫

明けましておめでとーございます。

2022年の新春を迎え、

謹んでお慶び申しあげます。

昨秋以降、国内では新型コロナウイルス新規感染者数が著しく減少し、本格的な日常生活回復に向けた動きが加速化する中で新年を迎えられたことを皆さまと共に喜びたいと思います。

海外での感染再拡大などもあり、先行きの見通しは予断を許さないものの、商工会議所は、本年

を感染防止と社会経済活動をより高い次元で両立させる年と位置付け、地域経済ならびにそれを支える事業者の皆さまの発展のため、引き続き全力を尽くしてまいります。

さて、コロナ禍で急激に落ち込んだ経済もようやく回復基調に転じましたが、依然力強さを欠き、業種や規模により回復度

合いが異なる「K字型回復」の状況が続いています。国民全体を覆う閉塞感を真に打開するためにも、昨年政府が決定した「新たな経済対策」の着実な実行はもとより、国民が日本の将来について明るい希望を抱けるような、新たな成長と発展への道筋を明確に示す必要があります。

第2次岸田内閣の発足以降、政府は「新しい資本主義」を掲げ、「成長と分配の好循環」「コロナ後の新しい社会の開拓」に向けて議論を重ねてきました。私はコロナ禍を通

じて、「強く豊かな国でなければ有事の際に国民を守るができない」と改めて認識しましたが、日本を危機に対するレジリエンスを備えた強い豊かな国にするためには、コロナ禍で明らかになった社会課題の解決と経済成長を車の両輪として同時に実現することが必要です。

少子高齢化に向かう人口動態等、様々な構造的課題を抱えるわが国が、社会課題を解決すると同時に経済成長を図るためには、一国の豊かさを示す総合的な指標である「1人当たりGDP」の引き上げを国全体の目標として掲げ、あらゆる分野での生産性向上と潜在成長率の底上げを図る必要があります。特に、雇用の約7割を占める中小企業の生産性を引き上げることは、ひいてはわが国全体の生産性の向上につながる重要な課題です。他にも、経済・医療安全保障、成長を支える基盤である人材育成や科学技術研究への投資、デジタル化の推進、「S+3E」の原則を踏まえたバランスの取れたエネルギー政策と技術革新等が不可欠です。

通商面では、TPPやRCEPの成果を踏まえ、同じ考えを持つ国々との連携を深めつつ、引き続き日本が自由貿易体制推進において主導的な役割を果たすべきです。

こうした課題認識を踏まえ、われわれ商工会議所は本年、特に以下3点について重点的な取り組みを実行してまいります。

第一は「デジタル活用による中小企業の生産性向上」です。これまでも幾多の困難を乗り越えてきた日本の中小企業は、様々な変化に柔軟かつ迅速に対応できる潜在的な変革力を有しています。中小企業経営へのデジタル活用は、生き残りをかけた自己変革の有力な手段であり、コロナ禍で加速したデジタル化の流れを、業務効率化に留まらず、

越境EC等を通じた販路拡大、さらには業態転換などのビジネス変革にまで広げる経営力向上の柱として強力に支援してまいります。

第二は「事業再構築、取引適正化等を通じた付加価値の向上」です。商工会議所による伴走型の経営相談体制の強化により、事業承継や事業の再生・再構築を後押しし、経営の効率化や付加価値創出力の向上を強力に支援してまいります。また、

大企業と中小企業で構成されるサプライチェーン全体で、創出した付加価値やコストをフェアに分ち合う取引適正化も不可欠です。登録企業が4千社を超えた「パートナーシップ構築宣言」は、官民連携でこれを実現するための有力なプラットフォーム

フォームであり、今後は宣言の実効性をより高め、中小企業の付加価値向上、ひいては日本全体の成長力の底上げに寄与してまいります。

第三は「地域ぐるみの地方創生の推進」です。東京一極集中と言われませんが、実際には一次産業の成長産業化、インフラ整備を通じた製造業の集積、インバウンド需要の取り込みなどを進めてきた地方圏の方が、東京圏よりも高い経済成長率を

実現しております。コロナ禍を契機としたさらなる地方分散化の動きもみられる中、政府の「デジタル田園都市国家構想」も踏まえ、こうしたモメンタムを地方創生の加速化につなげていくことは、レジリエントな日本の国土形成のためにも不可欠

です。商工会議所は、地域総合経済団体として地域の多様な主体との連携を深め、地域ぐるみの地方創生をさらに後押ししてまいります。

最後に、日本商工会議所は今年で創立100周年を迎えます。「地域とともに、未来を創る」をスローガンに、次の100年に向けて、中小企業の活力強化と地域活性化による日本経済の持続的な成長の実現を目指し、5

15商工会議所と連合会、青年部、女性会、海外の商工会議所とのネットワーク力を最大限活用し、新しい時代を皆さまと切り拓いてまいりたいと思っております。引き続きのご支援、ご協力をお願いして、私の年頭のあいさつとさせていただきます。

## 今年(とら)は寅年



今年(とら)は寅年。虎は千支の3番目、食肉目ネコ科の動物です。ライオンが「アフリカの百獣の王」なら、虎は「アジアの百獣の王」です。

日本の文献に初めて虎が登場したのは『日本書紀』で、欽明天皇の6年(545年)に、百済で虎退治をして、その皮を日本に持ち帰った人がいるということが記されています。生きた虎が日本にきたのは寛平2年(890年)といわれ、その後、江戸時代には、虎は見せ物として江戸・大坂(大阪)などをまわっていたそうです。多くの人が虎を見られるようになったのは、動物園が普及するようになってからです。しかし、虎はことわざなどによく登場し昔から親しまれています。だれでも知ってる「虎の子」は、大切なもの、秘蔵のものということ。「虎穴に入らずんば虎児を得ず」も、虎の子が貴重なものという意味から、危険を冒さなければ(虎の住んでいる穴に入らなければ)成功は得られないということです。いずれにしても、昨年は明るい話題の少ない年でした。今年(とら)のように、威勢よく頑張りたいものですね。



# 新型コロナウイルスを克服し、安心と期待を皆様へ

## 日立市長 小川 春樹

明けましておめでとうございませす。  
2022年の新春を皆様とともに  
迎えることができませしたことを、  
心からお喜び申し上げませす。

秋山会頭をはじめ、会員

の皆様には、日頃から本市  
のまちづくり、温かく力  
強いご支援とご協力を賜り、  
厚くお礼を申し上げます。

また、会員の皆様におか  
れましては、長引く新型コ  
ロナの影響により、事業経  
営上、大変なご苦労がある  
中、業務継続に努力され、  
雇用維持を図るなど、産業  
活動へのご尽力とともに、  
市民生活をお支えいただい  
ておりますことに、深く敬  
意と感謝の意を表する次第

であります。

こうした中、本市では、  
市民の皆様のおかげがえのな  
い命と健康を守るため、ワ  
クチン接種をはじめとした

感染防止対策を迅速かつタ  
イムリーに推進してまいり  
ました。また併せて、事業  
者の皆様をお支えし、地域  
経済の活力を取り戻すべく、  
資金繰りへの支援や雇用を  
守るための支援などを実施  
するとともに、ウィズコロ  
ナ、アフターコロナを見据  
えた新たなビジネスモデル

への転換支援などを行って

いるところであります。さ  
らに、新型コロナウイルスの影響に  
より大きな打撃を受けられ  
た、小売店・飲食店への支  
援といたしまして、日立商  
工会議所の皆様との連携の  
もと、「ひたちのまちでお  
買い物」事業、「おいしい  
ひたちごはん」事業を実施  
してまいりました。

一方で、本市のまちづく  
りにおきましては、日立総  
合病院の地域周産期母子医  
療センターが12年ぶりに再  
開いたしましたほか、みや  
た認定こども園の新園舎が  
完成するなど、お子さんを  
より安心して生み育てられ  
る環境づくりを進めること  
ができました。

また、日立シビックセン

ター科学館「サクリエ」や、  
かみね動物園の新たなレッ  
サーパンダ舎がオープンし、  
まちのにぎわいづくりも大  
きく進展したものと考えて  
おります。今年の夏には、  
かみね動物園において、ラ  
イオンやトラの「野生に暮  
らす姿」を様々な視点で観  
察できる、かみね動物園の  
新たな猛獣舎のオープンを  
予定しておりますので、ぜ  
ひこちらにも楽しみにしてい  
ただきたいと思ひます。

本年も、新型コロナ克服  
に向け、各種対策に全力で  
取り組むとともに、令和4  
年度を初年度とする10年間  
のまちづくりの指針となる、  
新たな日立市総合計画の策

定を進め、本計画をもとに、

人口減少対策や2025年  
問題といった本市を取り巻  
く喫緊の課題への対応はも  
とより、デジタル化の推進  
や脱炭素社会の実現といっ  
た新たな課題にも対応しな  
がら、すべての世代の方々  
が生き生きと輝く、安心と  
期待に満ちたまちづくりを  
進めてまいりますので、皆  
様には温かいご支援とご協  
力を賜りますようお願い申  
し上げませす。

結びに、本年が皆様にと  
りまして、ご家族共々、実  
り多き一年となりますこと  
を心からお祈り申し上げ、  
新年のごあいさつとさせて  
いただきます。



新年明けまして

おめでとーございませす。



# コロナを乗り越え輝く年に

日立市十王商工会 会長 和田 芳信

日立商工会議所会員事業所の皆様におかれましては、健康やかに新春をお迎えのことと思います。

平素より日立商工会議所の皆様には、商工会運営にあたり、ご支援ご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。新春にあたり、一言ご挨拶を申し上げます。

昨年を振り返りますと、一昨年から続く世界的な新型コロナウイルス感染症の感染拡大は、ワクチン接種

の進展等により、昨年秋季以降、国内では感染が沈静化し、収束に向かう明るい兆しも見え始めました。しかし、一方で、新たな変異株

が急速に広まりつつあり、今後も感染対策の継続が必要となつております。

このような中、地域の事業者の皆様は、長らくこのコロナ禍により、度重なる事業活動の制限を受け、深刻な打撃を被っております。また、さらには石

油等、資源価格の上昇も加わり、経営環境は以前にも増して厳しい状況が続いております。

特に飲食業や宿泊業の皆様などは、売上の大幅な減少、物価上昇により、厳しい状況にさらされております。

このため、商工会では身近な相談窓口として、国や県、市の各種コロナ支援策、持続化補助金や月次支援金、時短支援金等の普及・推進、申請サポートに取組み、また、きめ細かな伴走型支援に努め、地域を支える一助となつたところです。引き続き、本年は、アフ

ターコロナを見据え、地域で一層頼りとされる存在となるよう邁進し、事業者の皆様が経営安定に努めて参ります。

つきましては今後とも日立商工会議所の皆様との連携を密にしながら、地域の皆様への効果的な支援を行っていきたくと思っております。

最後になりましたが、皆様にとつて本年が明るく希望に満ちた一年となりますようご祈念いたしまして、新年のご挨拶とさせていただきます。



# 2022 副会頭年頭所感

副会頭 小峰 保信



新年あけましておめでとうございます。会員事業所の皆様には謹んで

新年のお喜びを申しあげます。

平素より当所事業運営につきましましては、ご支援、ご協力を賜り厚く御礼申しあげます。

さて、昨年は新型コロナウイルス感染症の世界的拡大により、我が国でも「緊急事態宣言」や「まん延防止重点措置」が発令され生活や経済活動に大きな影響を及ぼしました。そのような中、1年延期となりました東京オリンピック・パラリンピックが開催され日本勢の活躍に勇気と感動を与えて頂いた1年でした。

また、昨年発表されたエネルギー基本計画の原案では、2050年のカーボンニュートラルを目指し20

副会頭 郡 司 洋子



会員の皆さまにおかれましては、健康やかな新年をお迎えのことと

心よりお慶び申し上げます。また、日頃からご支援、ご協力を賜り厚く御礼申しあげます。

コロナ禍によりこれまでの生活スタイルから新たな形に変わり、そんな中で出来る事にチャレンジした1年をお送りしたことと思

います。まだまだ市内イベントの多くは中止を余儀なくされてしまいました。緊急事態宣言下で開催された東京オリンピックでのメダルラッシュは多くの国民に感動を与え、スポーツの素晴らしさを改めて感じられたと思います。無観客での開催でしたので直に目にする事が出来なかつたのが非常に残念でした。

私の所属する日立珠算連

盟は、今年、創立50周年を迎えます。当時30数名で立ち上げた連盟も、最盛期は150名を超える会員数となりました。現在は少子化等により設立当時に近い会員数での運営となっておりますが、初心に帰って一人ひとりの生徒さんと向き合って指導に励みたいと思います。

コロナ禍で我慢の経営が続いておりますが、もう少し耐えていただき乗り越えた先の明るい未来に繋がるように、これからも会員皆様のお知恵やご支援をいただきながら、人と人をつなぐ橋渡し役となれるよう努めてまいりたいと思っております。皆様にとって、実り多い1年でありますようご祈念申しあげ、新年のご挨拶とさせていただきます。本年もよろしくお願ひ申し上げます。









謹んで新春の祝詞を申し上げます。新しく始まりましたこの1年が、皆様にとりまして、より良き年となりますよう、心よりお祈り申し上げます。

昨年は、一昨年に引き続き新型コロナウイルス感染症が全世界に蔓延し、経済活動にも大きな影を落と



会員の皆様には心より新春をお慶び申し上げます。

日頃より、青年部活動に対しまして、格別なご支援ご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

昨年もコロナ禍での活動とはなりましたが、苦しみながらも培った経験をもと

日立商工会議所女性会

会長 佐々木悦子



た1年でした。皆様のお仕事にも多少なりの変化があつたのではないかとご推察いたします。

当女性会におきましては、昨年10月に、若手後継者育成事業のひとつである「女性経営者交流シンポジウム」を初めてオンラインにより開催いたしました。コロナ禍

において大人数が集まることなく事業を実施する最良の策と判断したものです。

このコロナ禍で、女性会活動においても事業を思うように実施できない状況が続くと考えられますが、会員相互のつながりを大切にこの難局を乗り切りたいと考

日立商工会議所青年部

会長 緑川 邦朗



にテレビ会議などを駆使し、できることを考え活動を止めることなく、またコミュニケーションも欠かさずことなく青年部一丸となつて事業運営をすることができました。

昨年は主要なテーマとして掲げた『SDGs(持続可能

な開発目標』への理解を深め、各事業にもその学びを活かすことができました。我々一人一人は微力ですが、組織としてより良い社会を目指す一助となるべく頑張つてまいります。

また昨年に引き続きコロナ対応型のグルメイベント

えております。親会との連携を取りつつ、感染状況を踏まえ、万全の対策を取りながら、さらには、変化する事業実施方法を柔軟に組み入れて、地域社会の発展に貢献できるよう少しでも前へと進んで参りたいと考えております。

本年も、ご協力とご支援・ご指導を賜りますようよろしくお願い申し上げます。



「日立からあげクエスト2022」を開催し、街の元気づくりにも貢献できれ

ばと思っております。

結びに、皆様にとりまして、実り多い1年でありませうご祈念申しあげ、新年のご挨拶とさせていただきます。

本年もどうぞよろしくお願い致します。



### 霜柱

冬の朝、白い息を吐きながら、霜柱を踏んで登校靴の下でザクザクと鳴るのが面白くて、みんなで競争しながら霜柱の上を歩いた思い出を持つ方もおられるでしょう。細い氷の柱が、朝日にきらめく様は美しいものです。でも、霜柱を見たことがない人も案外多いようです。これは都市化した地域が増え、畑や未舗装の道路が少なくなったからでもあります。実は、霜柱はどこにでもできるわけではないのです。

霜柱は、地中の水分が毛管現象で地表面に染み出て凍り、細い氷柱になったものです。これができるのは零下十度ぐらいいまです。寒すぎる